

① **研究課題名**：胞状奇胎の搔爬回数と続発症頻度に関する調査研究

② **研究の目的**：

これまで日本では胞状奇胎除去術後の再搔爬が多く施設で行われていました。一方、海外では胞状奇胎に対して通常 1 回の搔爬のみ行われています。現在、日本では再搔爬を行う施設と行わない施設が混在し、再搔爬を行う場合も施設ごとの基準で行っているのが現状です。

本研究は、日本産科婦人科学会専門委員会公募小委員会（班研究）として行う研究に東部医療センター産婦人科が参加するものです。日本の多くの医療機関における胞状奇胎症例の搔爬回数と続発症の頻度を調査し、最終的には、本研究での結果を踏まえ、再搔爬の必要性や基準の指針となるものを作成することを目的としています。

③ **研究期間**：西暦 2018年 12月 ～ 2019年 6月 30日

④ **研究代表者及び研究実施施設一覧**

研究代表者：福岡大学医学部 産婦人科・教授 宮本新吾

研究事務局：九州大学病院 産科婦人科・助教 兼城英輔

研究実施施設：名古屋市立東部医療センターを含む 438 施設

⑤ **研究の対象**：

2014年1月1日から2016年12月31日までの3年間に、名古屋市立東部医療センター産婦人科にて胞状奇胎に対し初回治療（子宮内容除去術）及び一次管理（奇胎組織の体内からの完全消失までの治療）を行った方、もしくは一次管理のみを行った方の診療録

⑥ **調査項目**：

1) 年齢（初回治療開始時）、2) 妊娠分娩歴、3) 初回治療前血中（尿中）hCG 値（mIU/ML）、4) 初回治療年月（奇胎除去術）、5) 初回治療時の妊娠週数、6) 初回治療の施設（自施設 or 他施設）7) 初回手術手技（搔爬、吸引、両者併用、その他、不明）、8) 病理診断（全奇胎、部分奇胎、胎児共存奇胎）、9) 免疫染色の有無（p57kip2、TSSC3）、10) DNA 診断の有無、11) 初回治療後一週間目の血中（尿中）hCG 値（mIU/ML）、12) 初回治療後一週間目の子宮内膜厚（mm）、13) 再搔爬の有無、初回治療からの日数、ルーチン再搔爬 or 選択的再搔爬（選択的再搔爬の場合その理由）、14) 再搔爬の施設（自施設 or 他施設）、15) 再搔爬の手術手技（搔爬、吸引、両者併用、その他、不明）、16) 再搔爬の病理診断（奇胎絨毛・トロホプラストの有無）、17) 続発症の有無、18) 続発症ありの場合の診断、19) 続発症の部位、20) 手術合併症の有無

⑦ **研究の方法**：

研究責任医師が、あなたの上記⑥の調査項目の情報を診療録から日本産科婦人科学会ホームページの専用フォームの調査票に記載し、電子情報として送信します。その後、収集された情報は、福岡大学産婦人科・熊本大学産科婦人科・千葉大学大学院医学研究院生殖医学・名古屋大学大学院医療行政学、九州大学 ARO 次世代医療センターにて集計・解析されます。

⑧ **研究成果の公開**

研究結果は、学会や学術雑誌にて公表される予定です。

⑨ **個人情報の保護**

あなたの情報が提供される際、個人を特定する情報（お名前、ID 等）は削除して匿名化されま

すので、あなたの個人情報が外部に漏れる事はありません。また、研究結果が公表される際も、個人を特定できる情報は一切含まれません。この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究は、日本産科婦人科学会より提供された資金で実施されます。本研究に係る利益相反はありません。

⑪ 情報の保管

本研究にて収集された資料は、研究終了後 10 年間（2029 年 6 月 30 日）まで保管され、その後、復元ができないよう消去・廃棄されます。

⑫ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 愛知県名古屋市千種区若水1-2-23	産婦人科	関 宏一郎 TEL：052-721-7171（代表）